

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

所属名	燕市 長寿福祉課
-----	----------

保険者名	①計画に記載した取組と目標の内容	②目標を設定するに至った現状と課題	③数値目標 (数値を設定していない場合は評価する基準)	④令和7年度に実施した具体的な取組と数値目標(③)の実績	⑤左記(③と④)を評価する手法	⑥評価結果 (⑤による評価。選択基準は記載例参照)	⑦評価結果を受けた課題と対応策
燕市	燕市全体の地域ケア会議の運営・推進	地域課題検討のため、地域ケア推進会議と3部会を設置している。令和7年度より、身寄りがない高齢者の支援に向け4つのワーキングチームを設立したため、検討回数や内容の評価が必要	各ワーキングチームの検討、研修会開催数	【身寄りなしワーキング】 ・居住:居住支援法人との情報交換(2回)、研修会(1回) ・医療:近隣病院への聞き取り調査(7病院) ・施設入所:入所施設担当者との情報交換会(2回) ・金銭管理:成年後見制度等の研修会(1回)	地域ケア推進会議におけるワーキングチームの活動報告	◎	身寄りがない高齢者に共通する課題については、関係者や施設間での情報交換により解決できる可能性が高まることから、関係者同士の連携体制の促進を目指した支援を行っていく。
燕市	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療と介護の連携体制を強化し、サービスを切れ目なく一体的に提供することで、在宅医療・介護連携事業の推進を目指す。	現状把握と課題の整理	在宅医療・介護連携部会で検討 (現状・課題) ・在宅看取りのニーズは減少傾向 ・往診医を見つけるのに時間がかかる ・看取りなのに救急搬送されてしまう等	在宅医療・介護連携部会での委員からの意見聴取	◎	整理された課題について具体的な対応策を検討していく。
燕市	認知症施策の推進	認知症施策推進基本計画が策定され、本人の意思決定を重視した施策を推進していく必要がある。	①認知症初期集中支援チームの介入事例数(12事例/年) ②認知症サポーター養成(500人/年) ③各生活圏域で見守り声掛け訓練の実施 ④オレンジリングカフェの参加人数28人 ⑤チームオレンジ 個別支援件数 12件 既存拠点の整備 8拠点	①認知症初期集中支援チームの介入事例数(11事例/年) ②認知症サポーター養成(432人/年) ③見守り声掛け訓練(2回) ④オレンジリングカフェ参加人数128人 ⑤チームオレンジ 個別支援件数 3件 既存拠点の整備 14拠点	各取組の実施状況確認 認知症支援部会で実施状況の評価	◎	チームオレンジの個別支援は、対象ケース像が明確にならないことで目標値を下回った。今後は介護支援専門員への事業の周知を行い対象ケース増加を目指す。
燕市	介護予防・日常生活支援総合事業の推進	多様な生活支援の充実・高齢者の社会参加と地域の支えあい体制づくり、社会的フレイル予防も含めた介護予防の推進が求められている。	高齢者の社会参加を促進するため、既存の資源の活用や利用を促進し、高齢者の移動外出の問題を解決するための方策を検討する。	「高齢者のための移動外出フォーラム」開催 参加者:62人 庁内の関係課で情報共有を行った結果、障がい者タクシーの利用および自動車燃料費助成事業において、身体障害者手帳を持つ透析患者を新たな対象者として含めることにつながった。	「高齢者のための移動外出フォーラム」参加者数	◎	現状把握と事業の拡充により、高齢者の移動外出の問題について一旦の目途が立った。引き続き、高齢者の社会参加と地域の支えあい体制づくり、介護予防の推進に向けて取り組む。